花巻図書館・複合施設で整備へ

来年度、検討委員会を設置へ

高橋　浩 議員
（花巻クラブ）

Q　市民懇話会の提言、中規模ホール、市民ギャラリー、こどもの城併設、複合施設の在り方、中心市街地の公共跡地の建設場所等の検討の進ちょく状況と整備検討委員会のスケジュールについて伺う。

A（まちづくり部長）　市民懇話会は、図書館の役割機能について市民視点で検討いただくため、昨年12月に設置し7回にわたって検討をしてきた。来年度は花巻図書館整備検討委員会を設置し、建設予定地を含め基本計画を策定していく。

賢治記念館改修整備

Q　賢治記念館と胡四王山一帯の整備やグレードアップ構想について、記念館のバリアフリーの観点からの改修、道路や駐車場の拡幅、新花巻駅から記念館登り口までの沿道整備、槻ノ木方面からの道路整備について伺う。

A（まちづくり部長）　賢治記念館や胡四王山周辺一帯の整備は重要な課題と認識している。今後の在り方については、関係団体と方向性等を検討している。具体的に示せる段階ではないが魅力ある賢治ゾーンとして計画的に整備を進めていく。

宮沢賢治の新たな評価により全国から来館者が絶えない記念館

大型商業施設の出店計画が進む南新田地区

南新田の大型店進出への考えは

土地利用計画に即し進めていく

照井 雄一 議員
（明和会）

Q　南新田地区への大型商業施設の出店計画について、既存商店街や既存大型店への影響が懸念されている。出店のメリットも当然考えられるが、今回の計画は規模も大きく、地域経済の秩序が乱れる恐れがあると考えるが、市はどのようにとらえているか伺う。

A（建設部長）　市では、当該地区は都市的土地利用を誘導する地域との考えから、地域別整備方針の土地利用計画に即し現在手続きを進めている。

いじめ問題について

Q　本市での「いじめ」の実態について伺う。また、いじめを受けている子どもが発するSOSを受け止めるための学校、地域、家庭での環境づくりが必要と考えるがどうか。

A（教育長）　「いじめ」の状況は平成22年度・23年度では、それぞれ小学校が9件・4件、中学校が13件・2件である。つらい思いをさせてしまったが学校や保護者などの連携により解決をみている。また、子どものSOSを受け止めるため、個人別相談や個人ノートを活用しており、児童・生徒会としても「いじめ防止」活動への推進を図っている。

原木シイタケの放射能対策

一部から基準値を超える値

若柳 良明 議員
（平和環境社民クラブ）

Q　原木シイタケから基準値を超える放射性セシウムが検出され自粛要請されていたが、その後、検査等でどうなったか。出荷自粛要請された農家数、出荷自粛した生産量、想定販売金額はいくらか。

A（農林水産部長）　原木生シイタケは42戸中7戸が基準値を超過、乾シイタケは187戸中52戸が超過、ほだ木は基準値の50ベクレルを超えた農家が232戸中80戸、想定販売金額は、生シイタケ約5万6000kgで1300万円、乾シイタケ約1700kgで280万円、森林組合分は取りまとめ中となっている。

公共牧野の役割は

Q　畜産振興における公共牧野の役割は大きいと考えられるが、どのように分析しているか。また、課題は何かを伺う。

A（市長）　労働時間の軽減と有効利用、家畜ふん尿処理量の軽減や繁殖能力の向上、空き牛舎への新たな牛の導入に伴う多頭化等に寄与していると認識している。課題は、利用頭数の減少、経年劣化による施設の補修個所の増加、ニホンジカによる被害があげられる。

畜産振興に果たす公共牧野の役割は大きい（大迫・宇瀬水牧野）

大型商業施設の出店計画により既存商店街の影響が懸念される

都市計画用途変更の影響と対策

影響は少なからずあると考える

鎌田 芳雄 議員
（花巻クラブ）

Q　広い面積の大型商業施設出店計画は、既存の商店街や店舗に影響を与えると思うがどう考えるか。高校や保育園等の文教施設の多い地域へのレジャー施設出店は大いに疑問である。交通渋滞、住環境とともに対策を伺う。

A（商工観光部長、建設部長）　プラス効果も想定されるが、既存商店街や店舗等への影響は少なからずあるものと考えている。また、交通量推計の結果から、一定の交通量の増加は見込まれるが、限定された時間帯や個所であると予想され、恒常的な混雑はないものと考えている。騒音については、今後、法に基づく届出において市としての意見を付して対応したい。

悪臭公害の対策

Q　昨年以降、悪臭公害が特に夏場に多発している。施設設備の改善も大事だが、県外等の遠方から集荷搬入する原料の腐敗防止を講ずること等を事業者の責務とするよう対策をとれないか伺う。

A（生活福祉部長）　他県の搬入業者まで規制することは難しい状況であり、今後の研究課題としていきたい。